



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月6日

上場会社名 不二ラテックス株式会社

上場取引所 東

コード番号 5199 URL <https://www.fujilatex.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 研二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 金原 辰弥

TEL 03-3293-5686

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,661	13.1	61	54.3	46	122.0	36	118.7
2020年3月期第1四半期	1,912	6.9	39	75.8	20	87.0	16	85.6

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 46百万円 (257.1%) 2020年3月期第1四半期 13百万円 (90.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	28.78	
2020年3月期第1四半期	13.16	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	12,728	3,126	24.6
2020年3月期	12,659	3,117	24.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 3,126百万円 2020年3月期 3,117百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期				30.00	30.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,300	11.8	36	13.8	10	83.8	7	85.6	5.51
通期	6,800	5.7	157	338.9	88	159.4	61		48.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	1,286,199 株	2020年3月期	1,286,199 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	16,839 株	2020年3月期	16,769 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	1,269,421 株	2020年3月期1Q	1,269,597 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述などについてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により急速に悪化した後、緊急事態宣言の解除を受けて若干持ち直してはいるものの、依然として不安定な状況となっています。世界経済も同様に新型コロナウイルスの感染動向により、感染対策として経済活動に再制限が課せられる可能性もあり、先行き不透明な状況が続いております。

かかる状況は、中核事業である医療機器事業および精密機器事業の市場環境に影響し、当第1四半期連結累計期間の売上高は、16億6千1百万円と前年同四半期に比べ2億5千万円(△13.1%)の減少となりました。

利益面では、主に販管費等の削減を進めたことにより、営業利益は6千1百万円と前年同四半期に比べ2千1百万円(54.3%)の増益、経常利益は4千6百万円と前年同四半期に比べ2千5百万円(122.0%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は3千6百万円と前年同四半期に比べ1千9百万円(118.7%)の増益となりました。

各セグメントの業績は次に示すとおりであります。なお、セグメント損益は、営業利益または営業損失に基づいております。

① 医療機器事業

主力のコンドームは、国内市場においては、商品の認知度向上を狙いにWeb広告や販促企画を展開し、大型小売店や大手ネット販売を中心とした販路開拓に継続的に注力しました。消費の減少傾向、価格の二極化、新素材製品のシェア上昇により厳しい状況が続くものの、新素材コンドームSKYNの定番化、ネット販売の伸長により売上は堅持いたしました。また海外市場においては、特に中国市場における需要後退を受け、販売が減少しました。

超音波診断装置等のプローブカバー(感染予防製品)、内視鏡用医療バルーンを中心としたメディカル製品については、新型コロナウイルス感染症拡大による一般診療需要の急減や海外向け需要の低迷が売上に影響しました。

この結果、売上高は5億4千8百万円と前年同四半期に比べ7千2百万円(△11.7%)の減少となりました。

セグメント損益は、売上減少に加えて競争激化に伴う利鞘の縮小、栃木千塚工場の竣工に伴う償却負担増加もあり2千7百万円の損失(前年同四半期は2千9百万円の損失)となりました。

② 精密機器事業

主力のショックアブソーバ及びロータリーダンパーは、経済活動の停滞を受けた取引先の在庫調整や減産の影響を受けながらも、変動を最小限に抑えて推移いたしました。国内市場では取引市場毎に減速感に差がでており、一部の住宅設備市場では比較的堅調な受注が続きましたが、家電、複合機、一般産業機械、建機市場等における受注は停滞いたしました。海外市場では総体的に出荷調整が顕在化しており、販売計画を下回りました。

この結果、売上高は、10億円と前年同四半期と比べ1億4千4百万円(△12.6%)の減少となりました。

セグメント利益は、経費コントロールが奏功したこともあり、1億8千5百万円と前年同四半期と比べ0百万円(0.2%)の増益となりました。

③ SP事業

主力のゴム風船が主体となる販促用品市場は、新型コロナウイルス感染症対策を受けたイベントの中止や取引先の休業等が影響し、売上高は5千6百万円と前年同四半期に比べ4千6百万円(△45.3%)の減少となりました。

セグメント損益は、8百万円の損失(前年同四半期は0百万円の損失)となりました。

④ 食品容器事業

食品容器などの商材受注が順調に推移し、売上高は5千6百万円と前年同四半期に比べ1千2百万円(29.9%)の増加となりました。

セグメント利益は、2千2百万円と前年同四半期と比べ1千5百万円(214.2%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の総資産は、127億2千8百万円となり、前連結会計年度末と比べ6千8百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金の1億8千万円、商品及び製品の8千7百万円の増加、および受取手形及び売掛金の1億9百万円の減少などです。

負債総額は96億2百万円となり、前連結会計年度末と比べ6千万円増加しました。主な要因は、短期借入金の1億7千4百万円、賞与引当金の8千5百万円の増加、および長期借入金の1億3千5百万円の減少などです。

純資産総額は31億2千6百万円となり、前連結会計年度末と比べ8百万円増加しました。主な要因は、その他有価証券評価差額金の9百万円の増加などです。この結果、自己資本比率は24.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、これら予想数値と異なる可能性があります。なお、2021年3月期の通期連結業績予想につきましては、2020年5月26日公表の2020年3月期決算短信の予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,501,286	1,681,967
受取手形及び売掛金	1,825,485	1,715,490
電子記録債権	357,948	389,043
商品及び製品	607,196	694,447
仕掛品	761,175	733,427
原材料及び貯蔵品	694,716	729,603
その他	173,199	127,048
貸倒引当金	△1,207	△1,104
流動資産合計	5,919,800	6,069,922
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,793,768	2,753,417
土地	1,848,498	1,848,498
その他(純額)	1,529,523	1,473,079
有形固定資産合計	6,171,789	6,074,995
無形固定資産	85,255	79,350
投資その他の資産		
その他	477,767	499,426
貸倒引当金	△29	△29
投資その他の資産合計	477,737	499,396
固定資産合計	6,734,782	6,653,742
繰延資産	5,124	4,607
資産合計	12,659,706	12,728,272
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	241,245	277,993
電子記録債務	793,983	830,379
短期借入金	3,103,000	3,277,000
1年内返済予定の長期借入金	541,332	541,332
未払法人税等	—	26,755
賞与引当金	128,341	214,280
その他の引当金	—	11,035
その他	617,849	472,335
流動負債合計	5,425,752	5,651,112
固定負債		
社債	400,000	400,000
長期借入金	2,787,852	2,652,519
退職給付に係る負債	102,828	103,175
その他	825,698	795,414
固定負債合計	4,116,379	3,951,109
負債合計	9,542,131	9,602,222

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	643,099	643,099
資本剰余金	248,362	248,362
利益剰余金	1,936,486	1,934,945
自己株式	△36,609	△36,823
株主資本合計	2,791,339	2,789,583
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62,280	71,488
土地再評価差額金	278,760	278,760
為替換算調整勘定	3,037	1,316
退職給付に係る調整累計額	△17,842	△15,098
その他の包括利益累計額合計	326,236	336,466
純資産合計	3,117,575	3,126,050
負債純資産合計	12,659,706	12,728,272

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	1,912,425	1,661,460
売上原価	1,498,876	1,279,996
売上総利益	413,549	381,464
販売費及び一般管理費	373,684	319,954
営業利益	39,864	61,509
営業外収益		
受取利息	37	35
受取配当金	3,764	3,148
受取賃貸料	3,399	3,318
為替差益	—	153
その他	2,926	486
営業外収益合計	10,128	7,141
営業外費用		
支払利息	19,863	19,125
賃貸費用	899	1,002
シンジケートローン手数料	1,875	1,875
その他	6,604	591
営業外費用合計	29,242	22,594
経常利益	20,749	46,056
特別損失		
固定資産除却損	335	44
特別損失合計	335	44
税金等調整前四半期純利益	20,413	46,012
法人税、住民税及び事業税	38,385	23,429
法人税等調整額	△34,680	△13,957
法人税等合計	3,705	9,471
四半期純利益	16,708	36,541
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,708	36,541

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	16,708	36,541
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,980	9,208
為替換算調整勘定	2,112	△1,721
退職給付に係る調整額	2,255	2,743
その他の包括利益合計	△3,611	10,230
四半期包括利益	13,096	46,771
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,096	46,771
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	医療機器 事業	精密機器 事業	S P 事業	食品容器 事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	621,712	1,144,759	102,759	43,193	1,912,425	—	1,912,425
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	621,712	1,144,759	102,759	43,193	1,912,425	—	1,912,425
セグメント利益 又は損失(△)	△29,254	185,370	△61	7,143	163,198	△123,334	39,864

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△123,334千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	医療機器 事業	精密機器 事業	S P 事業	食品容器 事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	548,817	1,000,357	56,172	56,113	1,661,460	—	1,661,460
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	548,817	1,000,357	56,172	56,113	1,661,460	—	1,661,460
セグメント利益 又は損失(△)	△27,358	185,714	△8,473	22,448	172,330	△110,820	61,509

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△110,820千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間から、「その他」としておりました「食品容器事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。